

ウソとデタラメの 当局証人

4/6
木戸君脱退強要
事件 地労委

四月六日、組合脱退強要事件(木戸)地労委第七回審問がおこなわれた。今回おこなわれたのは、出口証人(千葉支社人事課長)への組合側反対尋問および、川名証人(千葉支社輸送課長)への当局側主尋問である。

人事課長の知らない面接とは何?

出口人事課長への反対尋問では、出向復帰時の面接日、そもそも誰が統括しておこなったものなのか、をはじめ、様々な追及がなされたが、「(面接は)誰がいつやる、というような明確なものではない」「(面接のための)出向先会社の勤務解放について」私は確認していない。どのようにやっているのか知らない」等々、責任ののりのためだけの、全くデタラメな回答に終始した。

さらに、川名証人にたつては、全てをウソでぬり固める断じて許すことのできない証言をおこなったのである。

例えば、木戸君の出向

の申し出に対して、組合脱退を見込んで、乗務員休養室(ベッドルーム)につれていって面談をおこなったことを、木戸君自らが、休養室で話したと言ったとウソをつき、四月一日、木戸君が出向から復帰した日に、「動労千葉ではどうしようもない」「動労千葉ではいくら勤務成績が良くても、プラスマイナスゼロだ」等々と露骨に組合敵視の心情を公言したことを「一切言っていない、労をねぎらっただけだ」と居直り、千葉運転区支部書記長である押垂君を、それまで半年以上も乗務停止にしておきながら、木戸君の出向復帰の日に、木戸君と会わせなかったために、「線見」に追い出したことに対して、「以前から決めてあったこと」と、はずかしげもなく言う、といった態度である。われわれは、全てをウソでぬり固め、脱退強要の事実をひたすらおしかくそうとする証言を、断じて許す訳にいかない。

次回の証人Ⅱ脱退強要の首謀者・河野(予定)

次回審問では、JRの異常な労務政策の先頭に

千葉地区労が春闘集会



千葉地区労は、4月7日「89国民春闘勝利!千葉市総決起集会」を開催した。動労千葉も幕張支部、千葉運転区支部が参加し、4・13、17春闘ストライキ決起を参加者とともに、誓いあった。

幕張支部へ

15時

本日春闘第一波
ストライキ

たつてきた反動職制川名に対して、徹底した追及をおこなう予定である。また、次回はいよいよ今脱退強要事件の首謀者である河野事務課長(当時)への主尋問が、あわせておこなわれる予定である。五月十日、第八回審問に全力で結集を!